

施策評価シート

施策等名称	空家等対策の推進	体系番号	0501010901
		主管課	都市計画課

1 施策基本情報

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や単身世帯の増加、相続放棄、建物の費用の負担など様々な要因により、茅野市でも空家等が増加しています。 ・建物が適正に維持管理されていないことに伴い、地域住民の生活環境に防災、衛生、景観上の深刻な影響を及ぼしています。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	<p>快適で安らぎのあるまちづくりを目指して、住環境の保全と地域活性化のため、以下の3点を基本的な方針とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な住環境の保全 ・安全で安心なまちづくりの推進 ・空家等の利活用による地域活性化の促進

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	
				2022年度目標値	2027年度目標値
①	空き家対策年間情報発信回数	年間の市民への情報発信回数(回)	2.00	2.00	2.00
②	空き家住宅改修実施件数	年間の空家住宅改修件数(件)	4.00	10.00	10.00
③					

施策の柱1	名称	快適な住環境の保全	主管課	都市計画課			
	詳細	空家等の適切な管理を促進するとともに、空家等の発生そのものを抑制するための取組により、快適な住環境の保全を目指します。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	空き家対策年間情報発信回数	年間の市民への情報発信回数(回)	2.00	2.00	1 空家等対策事業	実施
	2				2		
	3				3		
					4		
					5		
					6		
	基本政策間連携						

施策の体系	名称	安全で安心なまちづくりの推進	主管課	都市計画課		
	詳細	地域住民や関係機関との連携を図りながら、適切に対処することで、市民が安全で、安心して暮らすことができるまちづくりを推進します。				
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1 空家等対策事業	実施
	2				2	
	3				3	
					4	
					5	
					6	
	基本政策間連携					

施策の柱3	名称	空家等の利活用による地域活性化の促進	主管課	都市計画課			
	詳細	空家等を地域資源と捉え、住宅やセカンドハウス、店舗、工場などとして利用してもらえるよう所有者に対して利活用を促すことで、市場への流通を促進し、地域の活性化を目指します。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	空き家住宅改修実施件数	年間の空家住宅改修件数(件)	4.00	10.00	1 空家等対策事業	実施
	2				2		
	3				3		
					4		
					5		
					6		
	基本政策間連携						

施策等名称	空家等対策の推進	体系番号	0501010901
		主管課	都市計画課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	空き家対策年間情報発信回数	2.00	1.00				
1		2.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	広報ちのへの掲載をしなかったため。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	空き家住宅改修実施件数	4.00	7.00				
2		10.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	3件の違いなので、特に要因はないと思われる。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	空き家対策年間情報発信回数	2.00	1.00				
1		2.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	広報ちのへの掲載をしなかったため。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱3	空き家住宅改修実施件数	4.00	7.00				
1		10.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	3件の違いなので、特に要因はないと思われる。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	空家等対策の推進	体系番号	0501010901
		主管課	都市計画課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	139,906	201,000 1.44			
	うち一財(円)	139,906	201,000 1.44			
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		遅れている				
総合評価	主な取組内容や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等対策計画策定後初の協議会開催 →今後の取組の方向性を確認した。 ・特定空家認定候補抽出 →代執行を視野に入れた取り組みに着手できた。 				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・空家対策協議会を実効性のある協議体にする。 ・特定空家認定～代執行までの手続きの実施。 ・空き家相談体制の整備 ・市内空き家の状況・予測見える化 				
改革・改善	改革・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の現状・予想と対応状況のDB整備(マッピング) ・Dランク空き家の特定空家認定 ・空家対策協議会に部会制を導入 ・民間専門団体と協働した空き家相談体制の構築 ・空き家発生抑制啓発対策の実施 				
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1			
		重点事務事業	1			
	理由	まずは周囲にマイナスの影響を及ぼしている空き家の除却、入口となる空き家の発生抑制が重要。				

作成担当者	矢嶋浩行			
最終評価責任者	篠原尚一			
最終評価年月日	2019年5月31日			